

大内まちづくり 協議会だより



vol. 3

2012年3月

発行：大内まちづくり協議会

〒753-0215 山口市大内矢田951-5（大内地域交流センター内） TEL・FAX：083-927-0473



～ふるさとを愛し、笑顔でふれあうまち大内～

平成23年度は、大内まちづくり協議会が発足して2年目、また「大内まちづくり計画」の実施初年度となる年でした。

「ふるさとを愛し、笑顔でふれあうまち大内」を目指すまちの姿として掲げ、各専門部会では、様々な活動を計画し、積極的に取り組みました。

まだまだ、緒に就いたばかりですので、改善すべき点もあったかと思われませんが、この1年の活動を振り返りながら今後の取り組みの充実につなげていきたいと思っています。

地域の皆さんには、取り組みへのご理解と、積極的な参加、協力をお願いします。

今回の「大内まちづくり協議会だより」では、平成23年度の各専門部会の主な取り組みについて報告します。



大内の集いステージ

子ども会夏のフェスティバル

大内っ子まもり隊

安心安全部会

大内地区防災マップの作成

皆さん見られましたか？

昨年は、東日本大震災をはじめ、未曾有の自然災害が発生しました。山口・防府でも平成21年7月21日の集中豪雨では、大きな被害が発生しています。

その教訓を踏まえ、浸水被害の発生した地域を追加した『大内地区防災マップ』の改訂版を作成しました。自分の住んでいる所が、自然災害でどんな影響を受けるおそれがあるのか、再認識されると



大内地区防災マップ

ともに、最寄の避難場所の確認や経路・方法などを家族と一緒に話し合っておきましょう。



バルーン型照明器具

バルーン型照明器具の購入

土砂災害など夜間の救出・復旧作業などでは、照明器具が必要です。いざという時に備え、可動式の照明灯を購入しました。

町内会の夏祭りなど夜間の照明が必要な場合に利用されてはいかがでしょうか。バルーンの機能や操作方法など実践的な訓練ができると思います。

連絡先（大内地域交流センター）

☎927-0473

健康福祉部会

1 「活力あるまち『大内』」と題して熊本学園大学教授の小川先生を迎え、地域の絆を大切にとユモアたっぷりのお話は参加者からも好評を得ました。

前年に続く講師で大内地域の特性を考慮した講演内容で良かったと思います。23・11・18実施

2 「親と子の『ホッと』な時間を……」おやつ作りでは食推大内支部石田さん他の皆さんによる指導で親子でクッキーづくり、それを食べながら、じゃがいもの会の熊野さん他の紙芝居（大内の昔話）を楽しみました。24・1・21実施

3 「心とからだのリフレッシュ」では、梶原先生による指導（レクスポ）で参加者（中高年）は楽しい汗を流しました。24・2・18実施



心とからだのリフレッシュ

4 「みんなで語ろう！子どもが元気・大人が元気・まちが元気」と題したワークショップを行いました。24・3・17実施
以上の行事について、大内まちづくり協議会会長並びに大内地域交流センター職員のご協力により進められたことを健康福祉部会より厚くお礼申し上げます。
平成24年度も楽しい企画を検討したいと思います。

文化教養部会

「地域を知り、地域で学ぶ」

市内でも特に人口の多い大内地区に住む私たちは、健康で心豊かな生活を送ろうと、各団体やサークル等で積極的に体育活動や文化活動を行っています。

昨年度、文化教養部会では、『大内の文化活動 今』という大内地区で文化活動を行っている75のサークルを紹介する冊子を作成しました。今年度は、大内地区全体で行っている体育活動や文化活動を支援するとともに、特に「地域を知り、地域で学ぶ」をテーマに、



史跡（大内氷上古墳）



史跡（神田山古墳群）

大内史跡マップ編集委員会を立ち上げ、大内地区の歴史を学ぶ地区案内図を作成しているところ です。地区の名前が室町時代に栄えた大内氏に由来することは多くの人が知っていることですが、古墳時代につくられた古墳が大内地区に点在していることなどはあまり知られていません。現在、部会員と地区の有志が集って、そのような地区の歴史を探索できる案内図を作成中です。来年度中には皆様の家庭に届けたいとがんばっています。

今後、「地域を知り、地域で学ぶ」文化教養部会の活動を地道に続けていきたいと考えています。

生活環境部会

この1年間を振り返ってみるときに、大内地区環境づくり、特に環境部会としての取り組みは目に見えるものでなくてはならないと思っています。また、実際にこの部会の活動を展開する上で一番大事なことは、住民の繋がりであり、活動内容は住民が納得するものでなくてはなりません。

そこで、平成23年度の行事としては、平成22年度緑越事業として、仁保川、問田川の草刈りについて色々な角度から実施箇所の検討を行い、問田川において2箇所（約700㎡）の範囲の草刈りを行いました。



（草刈り実施前）



（草刈り実施後）

具体的には、永代橋～山口合同ガス南側の井出までの箇所と、新出橋～光円寺橋までの2箇所の草刈りを行いました。今後は、今年1年間草の伸び具合等の様子を見て、平成25年度予算において事業実施の判断をしたいと考えています。

また、平成24年度より町内河川環境づくりの一環として環境美化活動助成金の交付を予定しています。これは、樫野川、仁保川、問田川、菅内川及び長谷川の河川沿いで、土手等の草刈りを行われるなど美化活動を行われた町内に対して申請により助成金を支払うシステムです。

地域振興部会

地域振興部会では、「大内まちづくり協議会だより」の発行や地域のつながり、絆を育むためのイベントの実施などに取り組みました。

「大内まちづくり協議会だより」については、広報委員会を立ち上げ、本号を含め2号を発行しました。当面は、年2回の発行を予定していますが、将来的には発行数を増やしていきたいと考えています。また、地域の皆様のご意見、ご要望をいただきながら、地域に親しまれる広報誌として内容の充実にも努めていきます。



大内の集い（ビンゴ大会）

大内地域最大のまつりである「大内まつり」は、3月11日の東日本大震災を受け、実施の是非について熟慮を重ねた結果、東北に向け大内から元気を発信しようとして、「大内の集い（震災復興応援イベント）」として実施しました。震災を契機に、地域のつながり、絆の大切さを再認識させられましたが、特に実行委員をはじめスタッフとしてご協力いただいた皆さんには、活動を通じてより強固な絆が育まれたのではないのでしょうか。今後、地域の「絆」を深めるため、また地域の活性化のため、イベントも充実させていきたいと思っています。



地域づくり協議会だより2号

編集後記

大内まちづくり協議会だよりでは、協議会の活動について地域の皆さんにしっかり伝えていこうと考えています。協議会あるいは本誌へのご意見やご提案などございましたら、ぜひお聞かせください。

また、地域づくりに関するご質問でも結構です。お気軽にお問い合わせください。

（連絡先）

大内まちづくり協議会事務局

電話・FAX 927-0473

地域交流センター所長より

大内まちづくり協議会が、「大内の恵まれた自然の中で、歴史と文化を活かしたまち」、「いきいきと子どもが育ち、世代を超えて楽しく交流できるまち」、「みんなが支えあい、安心・安全に住みよいまち」大内を理念として発足し、活動初年度を終えました。

大内地区は、市内二番目のマンモス地区です。それがために皆様のニーズも多種多様にわたります。協議会の方々は、毎日どんなかが地域交流センターにいらつしやり、そうした地域固有の課題や問題を地域自らの手で解決すべく、様々な活動に主体的に取り組まれています。

地域交流センターも、協働によるまちづくりのパートナーとして、微力ながら、活動しやすい土壌作りをはじめ、行政としての活動支援など様々な形で、住みよいまち大内の実現に携わって参りたいと思います。

